



よし だ つ う し ん

吉田通信

第45号
【2018年6月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■■

◆いつ起こるかかわからない災害◆

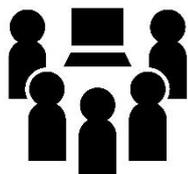
こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第45号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

先日、震度6を超える大きな地震が大阪府北部を襲いました。お亡くなりになられた方々には心よりお悔み申し上げます。また被災された方々には心からのお見舞いと早急な復旧をお祈りいたします。

地震後、知り合いの会社社長にお見舞いの連絡をしたところ、幸い大きな被害はなかったとのこと安心いたしました。その際の社長の話で、災害時に対応する活動ルールがあらかじめ決まっており、その対応でお客様からお褒めの言葉をいただいたとお聞きしました。その会社は物流倉庫を経営しており、インターネットなどで物販する会社をお客様とし、50万点を超える商品をお預かりしお客様に代わって消費者に発送する業務を行っています。

お客様からお褒めいただいたという対応は、早朝の地震にもかかわらず、入社した社員が速やかに商品の破損状況をお客様に連絡し、発送業務に遅れが出たお客様には遅延状況を逐次お伝えしていた、ということでした。電話は不通でしたがSNSは通話できたことも幸いしていた、とのことですが、社員全員に災害時の対応が共有されていたことが素晴らしい対応につながったのだと思いました。

当社も中越地震や中越沖地震を経験し災害時の対応ルールを決めていますが、今の時代にその内容が合っているか、そして何よりも社員全員に共有されているか、を検証しなければと思いました。社員の安否確認は「災害伝言ダイヤル171」を使うことになっていますが、お客様対応



も含めSNSの利用も加えていかなければなりませんし、全員が災害対応のルールにいつでも触れることのできる環境も作っていかなければなりません。

災害はいつ起こるかわかりません。時代に合ったルール作りを継続ししっかり準備をしていきたいと思えます。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき、どうもありがとうございます。さて、先日地元のお祭りである「大凧合戦」が5日間にわたり行なわれました。結果はいまいちでしたが、今年は準備がしっかりできました。凧を上げるために走るお祭りですが、体力が続かずいつも後半はバテバテでした。今年は（付け焼刃と言われましたが）直前の週末からお祭り前日まで4日間、各30分の走り込みをおこなったことで余裕を持って凧を上げられました。やっぱり準備は大切ですね。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史